

平成 22 年度「新しい利用の在り方推進」実施計画（案）

1. 利用動向の把握に関する取組

(1) 大台ヶ原の利用者数の把握に係る調査分析

① 利用者数の推計（各種調査分析）

利用対策に係る業務の基礎資料とするため、山上駐車場車両数調査、入下山者カウンター調査、ドライブウェイ交通量計測調査の結果等を取りまとめ、年間利用者数を推計するとともに、経年的な利用動向を把握する。

② 目視による利用者数計測調査

上記①の調査による利用者数の推計値を補正するため、山上駐車場及び入下山者カウンター設置箇所において、目視による利用者数計測調査を実施する。

③ 利用者数推計方法の検討

これまでの各種調査結果により、現在の推計利用者数が実態と乖離している可能性が示唆されているため、より正確な利用者数の推計方法を検討する。

2. 「適正利用に係る交通量の調整」に係る取組

(1) 公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの実施

① 普及啓発資料の作成・配布等

関係機関等との連携の下で、マイカー中心の利用形態から公共交通機関利用への転換・促進を目的としたポスター及びリーフレットを作成、配布する。

② 公共交通機関の利用促進に係る取組

秋季の繁忙期において、大和上市～大台ヶ原間のバス利用者に対して記念品（エコグッズ等）を配布する等、公共交通機関の利用に対する意欲を高めるための取組を実施する。

3. 「より良好な森林地域の保全と質の高い利用の提供」に係る取組

(1) 西大台利用調整地区普及啓発資料の作成、配布

広く一般を対象に、西大台利用調整地区の魅力や制度についての普及啓発ポスター及びリーフレットを作成し、関係機関、全国の山岳連盟、観光協会等に幅広く配布する。

(2) 西大台利用調整地区モニタリング調査

① 歩道状況調査

歩道及び過去に立入りが見られた箇所の洗掘、複線化、裸地化等の状況を記録する。

② 利用者意識に係るアンケート調査

西大台利用調整地区における事前レクチャー及び利用者の自然に対する意識や満足度等を把握するため、アンケート調査を行う。

